

# 新工場設立で増産と地域貢献を実現したセラミック加工企業

## 課題

### 増産依頼や新規部品のオーダーに応えたい

現在、AIやIoTを活用した製品を日常生活のいたるところで目にするようになった。車やスマートフォン、データセンターなど、そのほとんどに半導体や電子部品が組み込まれており、電子部品・デバイス・電子回路製造業界は、この先も非常に伸びていく分野である。

創業以来、ファインセラミックの精密加工を行っている株式会社アヅマセラミテックは、半導体製造装置の部品や静電チャック関連部品の製造をメインに行っている。

取引先からも高い評価を得て、各種製品の増産依頼や新規部品の引き合いが非常に増加しているが、それに応える能力が現工場には不足しており、機会損失につながっていた。

熟練の加工技能・技術の継承と、金属加工よりも大きな加工負荷に対して剛性が高く高精度を実現できる加工機の不足を解消することが、喫緊の課題だった。

また、それまでの工場は、加工精度を維持するための室温管理が甘く、加工機据付部床の振動の遮断や沈み込みのない床強度が不足しており、さらに人や製品の動線の最適化を図る効率的な工場レイアウトではないため、非効率な生産活動になっていることも大きな課題だった。

こうしたなか、平成30年度中の新工場の竣工を目指していた会社に対し、東御市商工会は、長野県商工会連合会の上席専門経営支援員と連携し、「地域未来投資促進法」の情報の収集と提供に努めた。

## 支援

### 地域経済牽引事業として雇用促進にも寄与

新工場の建設や加工機の導入、工場のレイアウトに関しては会社の戦略もあるため、商工会自体が支援を行うことはなかった。

しかし、工場建設にともなう事業が、平成30年4月に施行された地域未来投資促進法の狙い、「地域が自立的に発展していくため、地域の強みを生かしながら、将来成長が期待できる分野での需要を域内に取り組みることによって、地域の成長発展の基盤を整えることを目指す」に沿った事業であることから、商工会は長野県上田地域振興局の担当官とも連携し、地域経済牽引事業の承認申請書の作成支援を行い、認定



同業他社が持たないプロファイル加工機を有する

につなげた。認定されると税制面や金融面などでの支援が受けられる、国の確認申請書作成支援も行っている。

加工精度維持のための室温管理、床強度を持つ新工場の竣工後は、高精度を実現できる加工機の導入や従業員の増員も検討している。また、中堅社員、新入社員向けに熟練の加工技能・技術の承継を進めるための研修も重ね、5年後には20%増の5億3000万円の売り上げを見込んでいる。

## 支援の経過

期間	支援内容
平成30年4月	補助金・優遇税制情報提供
5月	地域経済牽引事業計画の策定支援
6月	地域経済牽引事業計画、国の確認書作成支援

## 会社概要

会社名：株式会社アヅマセラミテック  
 住所：長野県東御市和8656-3  
 電話番号：0268-62-2990  
 URL：<http://business.atengineer.com/azuma/>  
 代表者名：代表取締役 清水初太郎  
 創業年：昭和61年  
 年間売上高：4億3033万円（平成29年）  
 従業員数：20名  
 商工会名・担当者名：東御市商工会・猿谷巖